

【記事概要】

公開日：2020年9月14日

インドネシア：スマトラ湿地のオイル・パーム農園はコミュニティの洪水を悪化させる

2020年9月11日 著者 MONGABAY

新たに発表されたリサーチは、インドネシアのスマトラ島の湿地帯に広がるオイル・パームとゴム農園の広がり、この地域の洪水の悪化に関連していると述べています。

8月に *Ecology and Society* 誌に掲載された分析によると、「テンベシ川の集水域内で観測および測定された洪水頻度と強度の増加は、森林から単一栽培プランテーションへの土地利用の変化が原因である可能性がもっとも高い」ことを示しています。

[…]

テンベシ川は、約 800,000 ヘクタールのジャンビ州にあります。[…] その土地の多くは、オイル・パームやゴム農園に替えられました。

インドネシア全土での射流洪水の悪化は、住民と当局による土地利用の変化と環境の悪化にしばしば起因しています。

[…]

もっと読む